

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 23 年 4 月 7 日 (2011.4.7)

【公開番号】特開 2009-201934 (P2009-201934A)
 【公開日】平成 21 年 9 月 10 日 (2009.9.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-036
 【出願番号】特願 2008-50085 (P2008-50085)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

G 0 1 R 33/48 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 1 1

G 0 1 N 24/08 5 1 0 Y

【手続補正書】
 【提出日】平成 23 年 2 月 22 日 (2011.2.22)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

所定のパルスシーケンスに基づいて複数の R F パルスと複数の傾斜磁場パルスを被検体に印加してエコー信号の計測を制御する計測制御手段を有して、

前記複数の傾斜磁場パルスは、少なくとも一つの R F パルスの前後で印加される、印加量の等しい一対のクラッシャー傾斜磁場パルスを含む磁気共鳴イメージング装置であって、

前記計測制御手段は、所定の傾斜磁場パルスの極性に対応して、前記一対のクラッシャー傾斜磁場パルスの印加を制御することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の磁気共鳴イメージング装置において、

前記計測制御手段は、前記所定の傾斜磁場パルスの極性と、前記一対のクラッシャー傾斜磁場パルスの極性とが同一となるように制御することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 3】

請求項 2 記載の磁気共鳴イメージング装置において、

前記計測制御手段は、前記所定の傾斜磁場パルスの極性が切り替わるタイミングで、前記一対のクラッシャー傾斜磁場パルスの極性を変更することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 4】

請求項 2 記載の磁気共鳴イメージング装置において、

前記パルスシーケンスはスピンエコーシーケンスであり、

前記一対のクラッシャー傾斜磁場パルスに挟まれる R F パルスは 180 度 R F パルスであり、

前記所定の傾斜磁場パルスは、位相エンコード傾斜磁場パルスであることを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 5】

請求項 2 記載の磁気共鳴イメージング装置において、

前記パルスシーケンスはスピンエコータイプのラディアルシーケンスであり、
前記一対のクラッシャー傾斜磁場パルスに挟まれる R F パルスは 1 8 0 度 R F パルスであり、

前記所定の傾斜磁場パルスは、エンコード傾斜磁場パルスであることを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 記載の磁気共鳴イメージング装置において、
前記クラッシャー傾斜磁場パルスの印加パターンの選択肢を表示する表示手段を備え、
前記計測制御手段は、選択された印加パターンに対応して、前記クラッシャー傾斜磁場パルスの印加を制御することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。